

## 2022 年度委員会抱負並びに事業活動計画

委員会	広報委員会
担当副理事長	稲田 光彦
委員長	北川 皓介
副委員長	高崎 誠志
委員会開催日	7日、23日
LOMスローガン	響け 我々の熱き想いの守山（まち）づくり
委員会スローガン	CAN DO MORE ～もっとできる～
<b>委員会抱負</b>	
<p>近年、市民からの守山青年会議所に対する認知度の低迷や会員数の減少は深刻な課題です。この課題に対し、広報委員会が先頭となり例年よりも時代に即した方法を駆使して、地域の人々に対し守山青年会議所の存在・活動を発信し続けることが重要となります。中期ビジョン「3 cores vision」のもと守山青年会議所が中心となり地域や他団体を巻き込む活動を行い、我々の存在・活動を知ってもらえるチャンスを作らなくてはなりません。</p> <p>目的達成のためには、大きく二つの取り組みが必要です。一つはSNSを利用し発信することです。InstagramやFacebook、ホームページなどを発信出来る場を作ることでリアルタイムな発信が可能になり、また、エンターテインメント性のあるYouTube配信でPR活動を行うことで、多くの人に組織への興味を持ってもらえるよう活動を行います。もう一つは広報誌を作成し公共施設や商業施設、事業所などに配布することです。誌面には守山青年会議所の委員会活動報告や参画事業、メンバー情報を載せ、守山のまちに対する我々の思いを発信します。これら二つの取り組みを軸にし、参画する地域行事においては率先して行動し、事業活動の推進を図り我々の運動と活動を発信します。</p> <p>広報委員会がこのような活動を軸に取り組み、我々が楽しく元気に守山青年会議所を運営しその様子をSNSや広報誌で発信し続けることが重要です。その結果、我々が守山を盛り上げる青年団体であることを地域の方にアピールができ認知度の向上に繋がります。さらには、青年経済人が興味を持ってくれるような我々の活動を発信や運動を続けることで会員拡大や人材発掘に繋がります。広報委員会が中心となって守山青年会議所をもっと活発に、そして守山をより一層元気なまちに創造できるよう、委員会が丸となって取り組んで参ります。</p>	
<b>事業活動計画</b>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. HP・各種SNS運用（通年）</li> <li>2. 広報活動（通年）</li> <li>3. 例会設営（新年）（1月）</li> <li>4. 例会設営（4月）</li> <li>5. 例会設営（5月）</li> <li>6. 守山夏まつり（7月）</li> <li>7. サマーコンファレンス（横浜）（7月）</li> <li>8. 例会設営（8月）</li> <li>9. 例会設営（9月）</li> <li>10. 例会設営（11月）</li> <li>11. 守山ハーフマラソン（12月）</li> </ol>	